

■表-1

原価低減——即実行すべき3つの事柄		
1	会社の収支状況を「見える化」 年間利益計画 工事管理台帳	
年間利益計画と工事管理台帳を作成し、社員全員が会社全体の収支状況を見えるようにすることで、モチベーションを高める		
2	報・連・相の 仕組みを見直す	3
社内でおこる問題の80%は報・連・相に起因する。報・連・相をよくすれば原価が下がり、社員のモチベーションがある。		5Sを徹底する 整理・整頓・清掃・清潔・しつけ……誰でもできる簡単なことを徹底して行うことで、原価が下がり、人格が向上する。
※1の実践は、2と3の実践の上に成り立つ。2と3はいわばパソコンのOSのようなもの。2と3なくして、経営改革は成り立たない。		

■表-2【報・連・相の定義】 (『今すぐできる建設業の原価低減』より抜粋)

	誰に伝えるのか	何を伝えるのか	コミュニケーションの種類
報告	指示や命令、依頼した人に対して	指示や命令、依頼に対する回答	義務的 コミュニケーション
連絡	関係者全員に対して	相手に対して伝えたいこと	自主的 コミュニケーション
相談	信頼関係のある人に対して	自分が聞いて欲しいこと	相互信頼的 コミュニケーション

■表-3【5Sの定義】 (『今すぐできる建設業の原価低減』より抜粋)

5S	ポイント	意味
整理	基本動作	○カ月以内に「使用するもの」と「使用しないもの」に分け、使用しないものを移動させる
整頓	基本動作	○カ月以内に使用するものを、使用時にすぐに取り出せるようにする
清掃	基本動作	ゴミなし、汚れなしの状態にする
清潔	ルールの徹底	整理・整頓・清掃をやり続けている状態
しつけ	ルールの習慣化	基本動作のルールを強制することで、習慣化させること

「報・連・相」という言葉が既に耳に馴染んでいる方も多いと思う。しかし、言葉と行動を明確に理解して、社員全員が実行している会社は少ないのではないだろうか。実際、「工程の遅れ」など現場でのトラブルのほとんどは、コミュニ

報・連・相の
仕組みを見直す

目標達成までの具体的な対策へと行動を促すことができる。

しかし「報・連・相」を表1-2のように、「誰に、何を伝えるか」に分けた上で定義づけて社内に着せざることで、コミュニケーションがスムーズになり誤解や行き違いをなくすることができる。たと

ケース不足に起因するといわれている。工程が遅れる分だけ人件費がかかる。資材が間違っただけならば、新たに仕入れなければならない。このように、トラブルの穴埋めをするにはすべてお金がかかるのだ。

5Sを徹底して行う

5Sとは「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」のことである。この中で、「整理」と「整頓」は4文字熟語として使われることもあるため、つい同義語と思ってしまうが実はぜんぜん違う意味を持つ。「清掃」と「清潔」も然りだ。降旗氏はこれらについても言葉の意味と行動を定義づけ、社内に着せざるよう勧める(表1-3)。



どんなに優れたシステムやアプリケーションを導入しても、OSが悪ければ機能しない。つまり、「報・連・相」と「5S」ができていなければ、どんな手段を用いても効果があがらないということなのだ。

「報・連・相」と「5S」は、誰にでもできる簡単なことである。それだけに、そんな単純なことより利益に直接つながるノウハウが欲しい——と即効性のある対処法を求め方も多いと思うが、自分の会社(現場)がきちんと利益のある状態・体質になっているかどうか、今一度見直す必要があると降旗氏は語る。

「報・連・相」と「5S」は、誰にでもできる簡単なことである。それだけに、そんな単純なことより利益に直接つながるノウハウが欲しい——と即効性のある対処法を求め方も多いと思うが、自分の会社(現場)がきちんと利益のある状態・体質になっているかどうか、今一度見直す必要があると降旗氏は語る。

「報・連・相」と「5S」は、誰にでもできる簡単なことである。それだけに、そんな単純なことより利益に直接つながるノウハウが欲しい——と即効性のある対処法を求め方も多いと思うが、自分の会社(現場)がきちんと利益のある状態・体質になっているかどうか、今一度見直す必要があると降旗氏は語る。

「報・連・相」と「5S」は、誰にでもできる簡単なことである。それだけに、そんな単純なことより利益に直接つながるノウハウが欲しい——と即効性のある対処法を求め方も多いと思うが、自分の会社(現場)がきちんと利益のある状態・体質になっているかどうか、今一度見直す必要があると降旗氏は語る。

「報・連・相」と「5S」は、誰にでもできる簡単なことである。それだけに、そんな単純なことより利益に直接つながるノウハウが欲しい——と即効性のある対処法を求め方も多いと思うが、自分の会社(現場)がきちんと利益のある状態・体質になっているかどうか、今一度見直す必要があると降旗氏は語る。

「報・連・相」と「5S」は、誰にでもできる簡単なことである。それだけに、そんな単純なことより利益に直接つながるノウハウが欲しい——と即効性のある対処法を求め方も多いと思うが、自分の会社(現場)がきちんと利益のある状態・体質になっているかどうか、今一度見直す必要があると降旗氏は語る。

「報・連・相」と「5S」は、誰にでもできる簡単なことである。それだけに、そんな単純なことより利益に直接つながるノウハウが欲しい——と即効性のある対処法を求め方も多いと思うが、自分の会社(現場)がきちんと利益のある状態・体質になっているかどうか、今一度見直す必要があると降旗氏は語る。

「報・連・相」と「5S」は、誰にでもできる簡単なことである。それだけに、そんな単純なことより利益に直接つながるノウハウが欲しい——と即効性のある対処法を求め方も多いと思うが、自分の会社(現場)がきちんと利益のある状態・体質になっているかどうか、今一度見直す必要があると降旗氏は語る。

「報・連・相」と「5S」は、誰にでもできる簡単なことである。それだけに、そんな単純なことより利益に直接つながるノウハウが欲しい——と即効性のある対処法を求め方も多いと思うが、自分の会社(現場)がきちんと利益のある状態・体質になっているかどうか、今一度見直す必要があると降旗氏は語る。

ハタコンサルタン株式会社代表取締役
NPO法人建設経営者倶楽部理事長

降旗達生氏



1961年兵庫県生まれ。大阪大学工学部土木工学科を卒業後、総合建設会社へ入社。95年に退社し、99年ハタコンサルタン株式会社設立。建設業の経営改革や原価管理の支援コンサルタントリングなどを手がける。技術士(総合技術監理・建設部門)、APEC Engineer (Civil, Structural)、労働安全コンサルタント。http://www.hata-web.com/

原価低減のために
まずやっておきたいこと

公共工事の減少に伴い、競争が激化する建設業界。売り上げが低下する一方で資材は値上がりし、難しい経営の舵取りを迫られる企業も少なくない。こうした厳しい状況の中、利益を確保するにはどうすればいいのか。建設業の経営改革を手がける降旗氏からアドバイスをいただいた。

阪神大震災以降、建設業を取り巻く環境は大きく変わった。国の財政難により公共事業は激減したうえ、脱談合の流れで競争はますます熾烈。さらに耐震偽装など人々の建物に対する不安を煽る事件も勃発。逆風続きの建設業に明るいニュースはなかなか聞かえてこ

新規事業の開拓に踏み込み、業績アップを図る元気な会社も中にはあるが、多くの場合はそのための余力を持っていない。しかし、「この厳しい現状でも利益確保はできる」と降旗氏は語る。キーを握るのは、原価低減と人材育成だ。「製造業の場合はオートマテック化が進み、機械の導入や入れ替えによって、利益確保にはある程度の即効性が望めます。しかし建設業の場合は、人が手足を動かして働いている。どんなにいい機械やシステムを導入しても、人が育たなければ利益確保は難しい。効果は存在しません」

しかし、降旗氏が導く原価低減の方法(表1-1)は、確実に利益を確保し、同時に人を育てるという。また「人材」が「人財」へと育つことで原価低減をさらに可能にする。両者が揃うことで、社員ひとり一人のモチベーションが上がり、社

会社の収支状況を「見える化」する

建設業は扱う金額が大きいだけに、どんなに勘定になっても、業内でのムードも明るくなるという。果たしてその極意とは——。

「理解する」に分かる」ということは、「分ける」ということです。人は、分けて、はじめて理解できます。例えば、ただ漠然と会社の売上げ目標を掲げるのではなく、自分がどれだけがんばれば達成できるのか、各社員が理解できるように、細分化した計画書が必要

「工事管理台帳の場合も、案件ごとに細かく作成することによって、損益を会社全体で見ることができ、一つひとつの案件の中できつくりと利益を出していくよう意識づけることができる。それらをも一つの表にまとめることによって、会社の年度粗利益額との差を明確にし、

です。また、常に目標高までの差(「未到達度」)が認識できるよう、会社の収支状況が全員に見えるなければなりません」

降旗氏はその第一段階として、論理的かつ整合性のある年間利益計画と、詳細な工事管理台帳の作成を勧めている。

読者
プレゼント

今すぐできる
建設業の
原価低減

あなたの会社はなぜ
もうからないのか?

原価の仕組みを知るだけで業績アップ!
原価管理 コスト削減 人材育成

降旗氏の著書『今すぐできる建設業の原価低減』(日経BP社刊)を抽選で3名様にプレゼント。今回、ほんのさわりだけご紹介した原価低減のためのノウハウが具体的に紹介されています(詳しい応募方法は23ページをご覧ください)。